

3年生

カリキュラム

歯科衛生士としての即戦力となる 高度な技術を習得します。

臨床実習を中心に学習し、これからの高齢社会にも対応できるよう介護・福祉分野についても学習します。国家試験合格に向けて、国家試験対策もいよいよ本格化。模擬試験や個別指導を通して弱点を克服し、「国家試験合格」を目指します。



3年生専門分野

高度な知識の完成を目指します。

歯科診療は様々な専門知識を複合させて行われます。歯牙、口腔、顎顔面、頭頸部、全身の状態を総合的に判断する力をつけていきます。また、同じ疾患でも乳幼児と老人では対処が違います。

一つの疾患だけでなく、数種の疾患から症状が生じていることもあります。歯科衛生士として臨床に望むには、総合的な専門知識を必要とされ、これらを応用する力をつけ、臨地実習に進んでいきます。臨地実習には下記のものがあります。

これらの専門知識を基に臨床経験を重ねることによって有能な歯科衛生士を目指します。



臨地実習先

一般歯科医院・矯正歯科医院での臨地実習
幼稚園実習 障がい者施設実習
口腔保健センター実習 小学校実習
高齢者施設実習
広島大学病院・岡山大学病院・徳島大学・
福山市民病院実習

口腔の健康を健康寿命へと つなげる歯科医療



広島大学病院
主席副院長
谷本幸太郎

広島大学病院は、地域医療の中核をなす総合病院です。歯科においては、歯科医療を通じた地域医療の実践、人材の育成、高度先進医療の研究開発を担っています。乳幼児期から高齢期まですべてのライフステージの健康に寄与する

ために、標準的な歯科治療に加えて、あらゆる専門的な治療に対応しています。さらに、高度な医療安全および感染対策、そしてチーム医療を学ぶ上でも最適な施設です。こうしたことから、毎年多くの学生さんが研修に来られています。福山歯科衛生士学校の皆様にも是非本院で様々なことを経験し、充実した研修をしていただけたら幸いです。

3年生臨地実習

臨地実習は実習医院、口腔保健センター、大学病院などで行います。

障がい者施設実習

障がい者の診療には、それぞれの人の持つ障害に対し知識と配慮を必要とされます。歯科衛生士は障害を抱える人が安心して治療を受けられるために非常に大きな役割を担います。本校では、併設の口腔保健センターでの診療を通しての実習と障がい者施設での口腔衛生への取り組みとブラッシング実習を通して豊かな配慮のできるボランティア精神を育みます。



障がい者施設実習

広島大学病院・岡山大学病院・徳島大学・福山市民病院 臨地実習

大学病院・総合病院では、一般歯科医院ではめったに触れる事の出来ない症例に触れることが出来ます。また、広島・岡山大学病院で、チーム診療、他機関との連携で行われる歯科治療など様々なケースを経験します。さらに、大学病院は研究機関としての役割を担っており最先端や未来の歯科医療を現場で体験したり、見学することが出来ます。本校は、大学病院との密接な連携により実習を行います。



広島大学病院臨地実習

徳島大学病院 臨地実習